

～学び続ける教職員を目指して～

★4年生「総合」の授業より



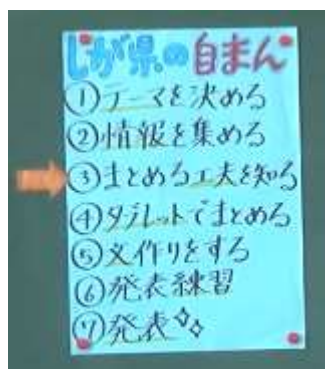
教育実習生に向けた授業として、総合的な学習の時間「滋賀県の自慢を伝え合おう」の授業を見せていただきました。滋賀県の産業や名物について、自分なりのテーマを設定し、metamojiを使ってポスターのようにまとめていく活動だそうです。今回は、「情報をまとめる工夫を知る」をめあてに学習が進んでいきました。

先生から島根の特産物「あご野焼き」の話がありました。ここでは、詳しい紹介はせず、「あご野焼き」について知りたいことは何か考えさせ、グループでホワイトボードに書き込ませていました。この知りたいことが、自分が発表する時に相手の知りたい視点につながることも話されておられ、発表の質を上げるポイントとして示されていました。子どもの発言をポイントとして取り上げ、授業の中に組み込むのがとても素晴らしいと感じました。



後に、「あご野焼き」をテーマにした先生のお手本発表がありました。実際に先生が作成された metamoji の資料を見て、発表を聞き、「あご野焼きってこんななんだ！」と知る姿がありました。子ども達が今後、どのような形で資料をまとめていくのか、イメージにつながったように思います。また、わかりやすく資料にまとめるポイントを子どもたちの発言から集約し、今後子どもたちが資料作りを進めていく上での「まとめる工夫」として紹介していました。イメージしやすいように視点を示しながらも、子ども主体で授業を進めていく取り組みに感心しました。

単元計画の視覚化。子どもに見通しを持たせるうえで大切ですね！当たり前前にされていることが素晴らしい！！



残った時間で、自分のテーマに沿った資料作成を進めていました。文字の大きさや画像の場所など、相手に分かりやすいように工夫する姿が多く見られました。

